



飛騨市 公民館講座

かいこ

お蚕様の魅力を知る

着物を作るのに
必要な繭の数は？

「まゆ」ってなあに？

繭1個から
何メートルの糸が
とれるの？

本当に繭から糸が
出てくるの？

真綿（まわた）って
木綿（コットン）のこと？

飛騨地域では古くから蚕を飼い、繭をとる養蚕（ようさん）が盛んでした。

講師に群馬県在住の東宣江先生をお迎えして、
お蚕さまが作った繭からひく生糸が絹織物になるまでの工程を学び、
実際に民具を使って、糸引き体験や揚げ返し体験をすることで
お蚕様への感謝と昔の人の暮らしを知る講座です。



2月 5日 (金)	①座学「養蚕から織物まで」 「お蚕様」と呼ばれ大切にされた蚕の一生や、繭から引く生糸が絹織物になるまでの工程など、お蚕様の魅力を学ぶ講座です。	②糸引き体験「節のない糸づくり」 本当に繭から糸が出てくるの？繭1個から1本の糸が出てくる不思議を体験しましょう。上質な繭を使用して、節が無く、キレイな糸を引く体験講座です。
2月 6日 (土)	③糸引き体験「節のある糸づくり」 昔、農家では出荷できなかった繭から節のある生糸を引いて家族の紬の着物を作ったといひます。製糸工場で使わない質の繭を使用して、繰糸鍋の中で煮ほぐした繭を専用のほうきで引っかけながら節のある糸を作る体験講座です。	④揚げ返し体験 小さな糸枠に取った生糸は無理に引き延ばされている状態で、これが長く続くと糸が弱くなってしまいます。なるべく早く大枠に巻き返す必要があります。これを揚げ返しといい、この工程を体験する講座です。

講師 東宣江 「蚕絲館」主宰

日時 古川町公民館（総合会館）
2/5（金）①10:00～12:00 / ②13:30～15:30
2/6（土）③10:00～12:00 / ④13:30～15:30

定員 ①20名 ②③④各10名

参加費 ①無料 ②③④各300円（材料費含む）



【講師プロフィール】

東 宣江（ひがしのぶえ）

和歌山県出身。1976年生まれ。西陣織伝統工芸士の和泉博山先生のもとで植物染めと着尺織りの基礎を教わり、2005年から群馬県にある「蚕絲館」の主宰として、手づくりの国産絹糸を製造販売や、ミャンマーの少数民族の就労支援活動に蚕糸技術の指導員として参加したり、NHK連続テレビ小説「エール」にて養蚕指導なども行なっている。

お申し込み
お問い合わせ

TEL 0577-73-7495 FAX 0577-73-6858

電話受付：月曜～金曜 9:00～17:00
E-Mail: syogaigakusyu@city.hida.lg.jp
飛騨市教育委員会事務局 生涯学習課

※お申し込みは電話・FAX・メール・古川町公民館（総合会館）窓口にて受け付けております。
会場・講座時間（①～④）・お名前・住所・電話番号をお伝えください。

対象 飛騨市在住、在勤の方

参加費 当日集金

主催 飛騨市教育委員会事務局 生涯学習課

お申込み締め切り
1月20日（水）

※定員を超える場合は抽選となります。

※お申し込みをされた方には、後日案内を送付します。 ※定員を超えるお申し込みがあった場合は抽選となります。また4名以下の場合は不催行となります。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況、悪天候等により急遽中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

注意事項 ①講座中の事故等につきましては、市が加入している保険の適応範囲内での補償とさせていただきます。
②会場までの道中は、受講者の責任でお願いします。
③受講中の記録写真の撮影ならびに画像を使用する場合があります。
以上のことを了承のうえ、お申し込みください。

飛騨市生涯学習課Facebookでも
講座の紹介をしています。

